

立命館大学技術士会 第9回総会 ご案内

平成30年(2018年)5月吉日
立命館大学技術士会 会長 大森秀高

立命館大学技術士会会員各位

立命館大学技術士会は、平成21年(2009年)12月の設立以降、8年6ヶ月余りその活動を継続してきました。これもひとえに会員皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。その間、会員相互の親睦 大学の発展に貢献 会員の技術レベルの向上と本会の発展・拡大 技術士を目指す母校後進への支援 地域及び社会活動の技術的支援、助言を志向する等、その活動も次第に定着してまいりました。こうした活動内容のご報告と、今後の本会へのご意見等を賜るため、第9回総会を開催いたします。総会は2018年6月30日(土)13時から、(一社)中央電気倶楽部にて行います。

設立以降、技術士受験対策講習会を毎年開催し、30名余りの合格者を輩出することができました。また大学支援の一環として、7月と10月に環境都市系学科の学生を対象に、『立命技術士懇談会』を開催しました。そのなかで公務員、コンサル、ゼネコンのそれぞれの立場で活躍する会員技術士が、学生達に卒業後の技術者としての社会活動の在り方や、実社会での経験談を語りました。学生達からも多くの質問と大変有意義であったとの感想をもらいました。このように大学においても本会の活動の場が拡がり、その連携も大きく前進しています。

また今年度は会員相互の交流の一環として、会報誌をリニューアルして10月に創刊号を発行しました。今後は、会員の日頃の科学技術に係る研究成果や技術報告をはじめ、自由闊達なご意見について投稿していただき、会員相互のコミュニケーションツールとして活用できるものにしていきたいと考えています。当面、発刊は年1回、10月頃を予定しています。

今後はこうした本会の活動をさらに継続的に発展させていくためにも、会員皆様の更なるご支援をお願いすると共に、一人でも多くの会員の皆様に総会に出席して頂き、交流を深めてもらいたいと思っています。

また総会時には毎年、特別講演を開催していますが、今年は、【建設現場におけるCIM活用事例】と題し、東急建設(株)小島文寛様に、大学からは大窪健之教授に、【歴史都市防災への取り組み-地震火災と環境防災水利整備-】と題し、文化遺産防災についてお話して頂きます。

総会にご参加の方は、メールか同封ハガキ(62円切手要)にて返事をお願いいたします。なお、不参加の場合には、返事は不要です。

交流懇親会の参加締切日は、会場都合により、6月22日(金)とします。

また、住所等の変更事項がありましたら、同様にご連絡をお願いいたします。総会で、皆様との再会をお待ちしております。 以上

事務局 企画・窓口担当 E-mail rits.kikaku.mado@gmail.com

URL: <http://alumni.ritsumei.jp/gijutsusikai/>

立命館大学技術士会 第9回総会 次第

2018年 6月30日(土)

13:00 ~ 17:00

(一社)中央電気倶楽部 215号室

第9回総会 (13:00~14:00)

- 開会および司会挨拶 …… 事務局：西村 敏 幹事
会長挨拶 …… 大森秀高会長
来賓挨拶 …… 校友会より
議長選出 …… 会則により大森会長
議案審議 …… 1) 第1号議案 <説明>
第8期事業報告 ……事務局(幹事長説明)
2) 第2号議案
第8期決算報告および監査報告
……事務局(幹事長説明) & 監事
3) 第3号議案
第9期事業計画(案)および予算(案)
……事務局(幹事長説明)
<報告>
第9期役員人事 ……事務局(幹事長説明)
その他 ……平成29年度技術士合格者紹介
閉会の辞 ……土屋光弘副会長

以上

講演会

小島 文寛 様 (14:00~15:30)

東急建設(株)土木事業本部 事業総括部 ICT推進グループリーダー

<講演:「ICT」が進める建設現場の生産性革命

~100年に一度の渋谷再開発の事例とともに>

大窪 健之 様 (15:30~17:00)

立命館大学理工学部都市システム工学科 教授

<講演:歴史都市防災への取り組み~地震火災と環境防災水利整備>

~~~~~

<第2部> …… 交流懇親会 (17:00~18:30)

懇親会費：1人 3,000円(予定)

会場は、中央電気倶楽部 317号室

## 講演者紹介および講演概要



### 小島文寛（おじまふみひろ）

東急建設株式会社 土木事業本部 事業統括部 ICT推進グループ グループリーダー  
技術士（建設部門）コンクリート診断士・主任技士  
技術研究所や現場での経験を経て、現在は国土交通省が主導するi-constructionにお  
けるICT活用やCIMの専任者として従事している。

「ICTで現場力を強化し、楽しい現場をつくる」をビジョンとし、未来のシビルエン  
ジニアの姿を求めつづけている。土木部門だけでなく、建築部門とも連携した独自の  
概念で新たな価値創造に努める。

土木学会 土木情報学委員会 建設3次元情報利用研究小委員会委員  
日本建設業連合会 インフラ再生委員会 技術部会委員

## 演題「「ICT」が進める建設現場の生産性革命 - 100年に1度の渋谷再開発の事例とともに - 」

### 講演概要

今、建設業界に大変革が起きています。「ICT」を活用した生産性革命など、先進的な技術がもたらす変化とは?本講演では、渋谷再開発の多くの工事に携わっている当社が、再開発の概要や渋谷の将来像とともに、プロジェクトで活用されているICT、3次元モデルのメリットを生かすBIM/CIMの取組など最新技術による生産性革命について説明します。また、変わりゆく渋谷とともに、まちづくり・ものづくりの場で起きている進化の潮流についてもご紹介します。



### 大窪健之（おおくぼたけゆき）

立命館大学理工学部・教授（副学部長）、歴史都市防災研究所・所長、博士（工学）  
京都大学、一級建築士。専門は文化遺産防災学、歴史都市の防災計画、建築設計。

1993年に京都大学大学院工学研究科修士課程を修了。京都大学助手、同准教授を経て、2008年より現職。グローバルCOEプログラム拠点リーダーも担当。伝統的空間や風土特性を活かした歴史都市の防災まちづくり研究に取り組む一方、建築や地域設計等のプロジェクトを通じて実社会への貢献を目指す。著書に『文化遺産防災学

「ことはじめ」篇』（共著、アドスリー、2008）、『歴史に学ぶ減災の知恵』（単著・2013年度不動産協会賞受賞、学芸出版社、2012）など。

## 演題「歴史都市防災への取り組み - 地震火災と環境防災水利整備 - 」

### 講演概要

地域の歴史と文化の結晶たる文化遺産は、ひとたび失われると二度と再生できない大切な社会的共有財産です。しかし日本の歴史都市の多くは木造密集で火災に弱く、特に地震に起因する都市火災に対しては極めて脆弱な状況にあります。

ここでは世界文化遺産にも登録される清水寺と、これを取り巻く日本を代表する歴史地区などを対象として、近年の火災対策プロジェクトについてご紹介します。